

第4回みなまた環境絵本大賞・市民賞募集要項

1 趣旨

地球は水の惑星といわれています。しかし、人が生活に使うことのできる水は、全体のわずか1パーセントにも満たない希少なものです。わたしたちの暮らす21世紀は、その希少な水が少しずつ失われ、「水の世紀」とまでいわれるほど、世界的に深刻な問題となっています。

水俣市は、面積の70パーセントが山林ですが、源流から海までひとつの水系を持つ水俣川の清流が、大樹の枝のように広がり、田畑を潤し人の暮らしを支えています。

1992年、市は「環境モデル都市づくり」を宣言し、さまざまな取り組みに挑戦してきました。

そして2011年、第10回日本の環境首都コンテストにおいて、ついに「日本の環境首都」の称号を得ることができました。

環境首都“みなまた”は、100年先、1000年先へと多様な生態系を紡いでいくために、環境をテーマにした絵本（原文、原文と絵）を募集します。

2 内容

「環境」をテーマにした未発表の創作。

第1回大賞受賞作『ひょっこりじぞう』“ふきだまりへの視線”

第2回大賞受賞作『古どうぐ〜るぐる』“江戸時代の循環型社会”

第3回大賞受賞作『すずこ』“自然との共生”

3 応募規定

【一般部門 絵本原文のみの場合】

- ・日本語で縦書き。1場面150字以内を15場面で構成。
- ・パソコン、ワープロによる字詰は自由。ただし、手書きも含めて用紙はA4サイズを使用。
- ・Eメールでの応募は、ワードまたはテキスト文書にて作成し、添付ファイルで送信。

【一般部門 絵本原文と絵の場合】

- ・画材、技法は自由。合作も可。
- ・原文と絵は別に提出。
- ・絵の見開き寸法は横440ミリ×縦250ミリ。
- ・1場面ずつA3用紙にカラーコピーして提出（縮小可）。

※原文のみの採用となる場合あり

【一般部門 共通事項】

- ・複数応募も可。
- ・鉛筆書き、FAXでの応募は不可。
- ・場面ごとに①～⑮の通し番号を記載。

※一般部門については、第4回みなまた環境絵本大賞への応募としても受付

【こども部門 創作童話】

- ・日本語で縦書き。
- ・複数応募可。
- ・パソコン、ワープロによる字詰は自由。ただし、手書きも含めて用紙はA4サイズを使用。
- ・400字詰原稿用紙10枚以内。
- ・Eメールでの応募は、ワードまたはテキスト文書にて作成し、添付ファイルで送信。

4 応募資格

- ・水俣市内に在住、通勤、通学の個人に限る。
- ・一般部門—高校1年生以上もしくは、16歳以上（2015年4月1日現在）。
- ・こども部門—小学3年生以上、中学3年生以下。

5 応募方法

- ・所定の応募用紙または作品の1枚目に ①住所 ②氏名（ペンネームは不可）③年齢（生年月日）・性別 ④電話番号 ⑤メールアドレス ⑥職業または学校名・学年 ⑦著書、受賞歴など ⑧作品タイトル ⑨応募理由を明記のうえ応募する。
- ・募集要項及び応募用紙は、水俣市立図書館ホームページに掲載。郵送を希望する場合は、住所、氏名、電話番号を明記し、返信用封筒と82円切手を同封し請求する。
- ・団体での申し込みは不可。

6 応募作品の返却

応募作品の返却は行わない。

7 応募先

水俣市立図書館内 みなまた環境絵本大賞事務局
〒867-0065 熊本県水俣市浜町2丁目10番26号
電話 0966-63-8401
Eメール mina-eco-ehon@minalib.jp

8 応募受付期間

2015年7月1日（水）～10月31日（土）＜当日消印有効＞

9 入賞発表

2016年1月下旬に水俣市立図書館ホームページにて発表。
※受賞者には直接通知

10 賞及び賞金（副賞）

【一般部門】

- ・大賞 1編 賞状と賞金2万円
- ・優秀賞 1編 賞状と副賞（図書カード5,000円）

【こども部門】

- ・大賞 1編 賞状と副賞（図書カード5,000円）
- ・優秀賞 5編 賞状と副賞（図書カード3,000円）
- ・佳作 数編 賞状

※受賞者は、2016年3月予定の授賞式に出席

11 著作権の帰属ならびに受賞作品の利用

- ・受賞作品の著作権は原作者に帰属する。ただし、水俣市は複製・頒布の権利を有し、その場合著作者に著作権料等の支払いは行わない。
- ・受賞作品については、市の広報やホームページ等に掲載することがある。
※応募者の個人情報については、入選の連絡等にもみ使用

12 審査員

- ・柳田邦男氏（作家） ・小泉るみ子氏（絵本作家） ・村中李衣氏（児童文学者）
- ・西日本新聞社出版部

13 コーディネーター

- ・本木洋子氏（作家）

主催：熊本県水俣市、水俣市教育委員会

後援：熊本県、熊本県教育委員会、熊本県市立図書館協議会、
（社）日本児童文学者協会、（公社）全国学校図書館協議会、
朝日新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、熊本日日新聞社、
NHK熊本放送局、熊本放送、テレビ熊本、くまもと県民テレビ、九州朝日放送、
エフエム熊本